

平成13年3月30日
経済産業省産業技術総合研究所
大阪工業技術研究所
(所長 諏訪 基)

独立行政法人産業技術総合研究所関西センター
四月発足に向けて

1) 本年四月に発足する独立行政法人産業技術総合研究所(産総研)は、旧工業技術院傘下15研究所と計量教習所を母体として全国に9カ所の研究拠点(センター)を有し、年間予算規模約850億円、3200人余の職員を擁する我が国最大規模の公的研究機関となる。

2) 関西センターは、旧工業技術院大阪工業技術研究所(大工研)、同電子技術総合研究所大阪ライフエレクトロニクス研究センター、同計量研究所大阪計測システムセンター、同地質調査所大阪地域地質センターの4所を母体とし、総員約650名(内、職員約240名)の西日本最大規模の公的研究機関である。(産総研内では「つくばセンター」に次ぐ規模。)

3) 大工研をはじめとする旧工技院研究所のこれまでの研究ポテンシャルを活かしながら、真のエンジニアリングを希求する組織再編、研究者の流動促進、分野融合的な課題に対して、柔軟に対応できる組織の構築、研究ユニットの自律性と機動性を重視した組織のフラット化、が研究組織再編の主なネライ。

4) 関西センターは、「産、学の集積が大きい」という関西地域の立地条件を生かし、近畿経済産業局をはじめとして企業、大学、公的機関、団体等、諸機関との緊密な連携の下に、「産総研における産学官連携のキーステーション」、「産総研のシーズと関西のニーズのマッチングの場」、「関西の科学技術拠点」としての役割を果たすことを目指す。

5) 関西センターは、人間とくらしに密着したエンジニアリングを指向し、ライフサイエンス(バイオ)、生活環境、光情報等の枠を越えた分野融合化を推進する。

6) 関西センターに所在する研究ユニットは、ヒューマンストレス研究センター、ティッシュエンジニアリング研究センターなど、12ユニット。

問い合わせ先

大阪工業技術研究所

統括研究調査官 藤井兼栄 TEL 0727-51-8528

又は 研究調査官 鈴木守也 TEL 0727-51-9688

FAX いずれも 0727-51-9621

関西地区の研究部門の新旧組織表

産業技術総合研究所（旧工業技術院）

独立行政法人 産業技術総合研究所

- 計量研究所
 - 大阪計測システムセンター
- 大阪工業技術研究所
 - エネルギー変換材料部
 - 電池研究室
 - 燃料電池研究室
 - イオン化学研究室
 - 超高温材料研究室
 - 無機機能材料研究室
 - エネルギー・環境材料部
 - 水素エネルギー研究室
 - 金属材料化学研究室
 - 触媒化学研究室
 - 合成化学研究室
 - 環境化学研究室
 - 光機能材料部
 - 光材料物性研究室
 - ガラス構造研究室
 - 機能性ガラス研究室
 - 光電子化学研究室
 - 情報光学研究室
 - 有機機能材料部
 - 生体分子工学研究室
 - 生物資源工学研究室
 - 機能性高分子研究室
 - 高分子表面化学研究室
 - 複合体合成研究室
 - 材料物理部
 - 量子ビーム研究室
 - 薄膜工学研究室
 - 界面物性研究室
 - セラミックス材料研究室
 - 材料計測研究室
- 地質調査所
 - 大阪地域地質センター
- 電子技術総合研究所
 - 大阪ライフエレクトロニクス研究センター
- 産業技術融合領域研究所
 - 三次元細胞組織モジュール研究グループ（在筑波）

